

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 26″	
				経度	137° 32′ 14″	
新中越橋 (フリガナ)シンナカゴシハシ	村道第29号線	王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
王滝村	2016.10.18	河川	有	一般道	三次	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	径間1 主桁 02 写真-5			
	横桁	Ⅱ	腐食	径間1 対傾構01 写真-8			
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	径間1 床版 02 写真-17			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	土砂堆積	径間1 支承 0201 写真-23			
その他		Ⅲ	地覆:欠損	径間1 地覆 02 写真-38			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	主桁、横桁に腐食、床版にひびわれ、支承部に土砂堆積、地覆に欠損が生じている。早期に措置を講ずべき状態。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	終点側		起点側
1976年	30m	4.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
写真 5  径間 1 主桁 02 腐食	写真 8  径間 1 対傾構 01 腐食
上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	支承部【判定区分: Ⅱ】
写真 17  径間 1 床版 02 床版ひびわれ	写真 23  径間 1 支承 0201 土砂堆積

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】	その他(地覆)【判定区分: Ⅲ】
写真 28  径間 1 舗装 01 ひびわれ	写真 38  径間 1 地覆 02 欠損
その他(排水装置)【判定区分: Ⅱ】	【判定区分: 】
写真 42  径間 1 排水装置 101 土砂詰り	